

100年をつくる 鹿島の一翼を担う

本州四国連絡橋

JR東北縦貫線

温井ダム

東京駅丸の内駅舎

フジテレビ

東京駅八重洲口グランルーフ

新潟県新潟スタジアム「ピックスワン」

山岳土木

ダム・橋梁



鹿島事業協同組合
(鹿島建設(株)の施工パートナー)

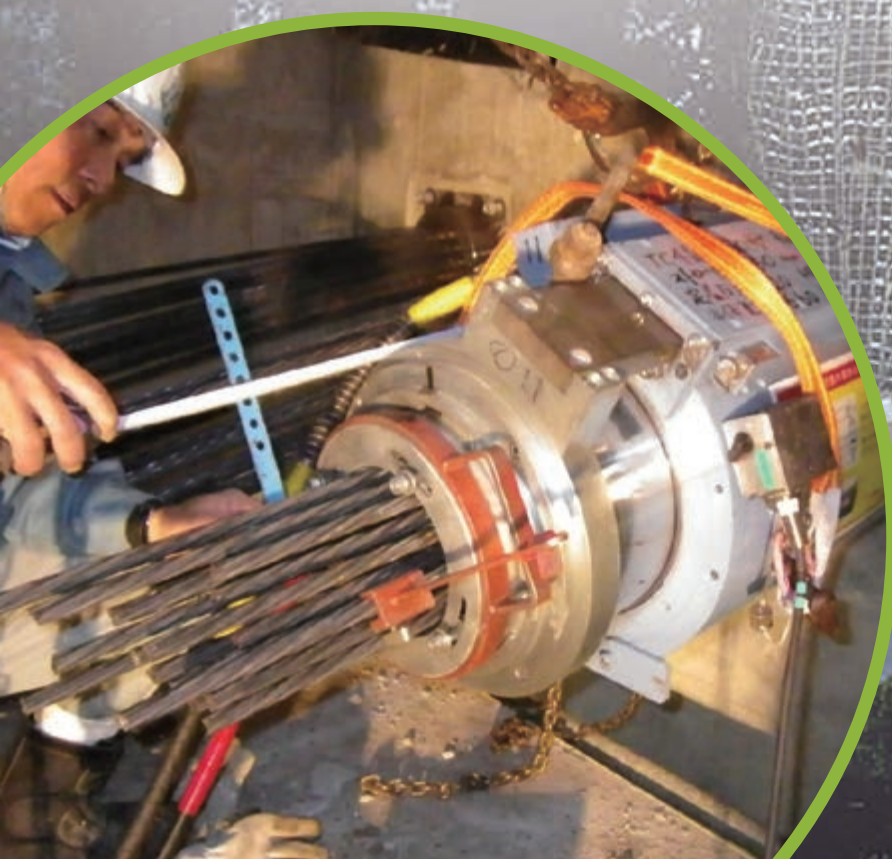
山岳土木 ダム・橋梁の 魅力

世紀を越えて、未来に受け継がれる誇り

山や河川が形つくる日本の複雑な国土。そこで人々が安全・安心に暮らすための社会基盤や生活施設を整備するのが建設業です。その多彩な仕事の中で、ダムやトンネル、道路や鉄道、浄水場などの社会基盤を施工するのが土木工事です。

巨大な構造物であるダムや橋梁が自然と融合している姿は美しく、見る人に感動を与えます。多くの職種の人たちが長い年月をかけてダムや橋梁を完成させた時の達成感は、他に類をみないものです。

ダムも橋梁も50年、100年と残り、次世代が担う未来に引き継がれて行く公共性の高いもの。地図や歴史にその名を刻む仕事は、生涯にわたって誇りとなるでしょう。





仕事

3万以上の川が流れる日本の暮らしを支える

コンクリートダム工事では、着工前の自然環境のアセスメント、川の流れの変更によるダム建設サイトの造成、コンクリート打設前の清掃、コンクリート打設、打設後のグリーンカット、大型型枠のスライドなど、長期間にわたり多種多様な工程があります。特殊な重機を使用するため、高度で専門的な技術や資格が必要です。

橋梁は、鉄橋とコンクリート橋に大別され、その工事は下部工と上部工という2つの工程で構成されます。下部工では、地中で橋を支える基礎を築いて橋脚を据え付けるなど橋の土台を作り、上部工では、橋脚に橋桁を載せ、その上に道路をつくります。



重力式コンクリートダム



コンクリート斜張橋

選ばれたプロだけが 参加できる現場がある

ものづくりは、カタチとなって残るものをつくる仕事です。

次の世代に、誇りを持って手渡せる建物をつくるのには、最強のメンバーが必要です。

最先端の建設現場に欠かせない各工程のエキスパートたち。

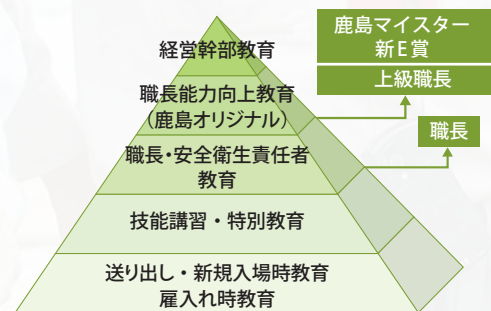
鹿島事業共同組合の構成員は、選びぬかれた鹿島の施工パートナー（協力会社）として、重要プロジェクトを成功に導きます。

あなたも、最強チームに入って、大きな夢をかなえませんか。

充実した教育訓練プログラム

鹿島建設と施工パートナー会社（協力会社）とは、互いに学びあう環境を重視しています。最新の技術・技能や、現場での安全管理に対するさまざまな知識やノウハウを効率的に共有し、高めて行く取り組みの一つが、教育訓練プログラムです。

新人から経営幹部に至るまで、あらゆるレベルの方々に向けたきめ細かな教育プログラムにより、継続的な施工品質と安全管理の向上を実現します。



職業生涯モデルの全体像



出典：厚生労働省、雇用・能力開発機構「達人になろう！建設業人材育成モデル」

プロフェッショナル集団

建設工事には高度な技術やノウハウを必要とするため、躯体、仕上げ、設備など、各分野の専門工事業者が協力しないとプロジェクトを成功させることができません。鹿島グループは、数多くの専門工事業者から高い施工能力と安全管理を持つ会社を厳選して、施工パートナー（協会社）になっていただいています。



選ばれたプロフェッショナルだけに与えられる称号

鹿島建設株式会社は、業界最高水準となる優秀登録職長手当制度「鹿島マイスター（通称）」と、優秀技能者報奨金制度「新E賞（通称）」を制定しています。



新E賞

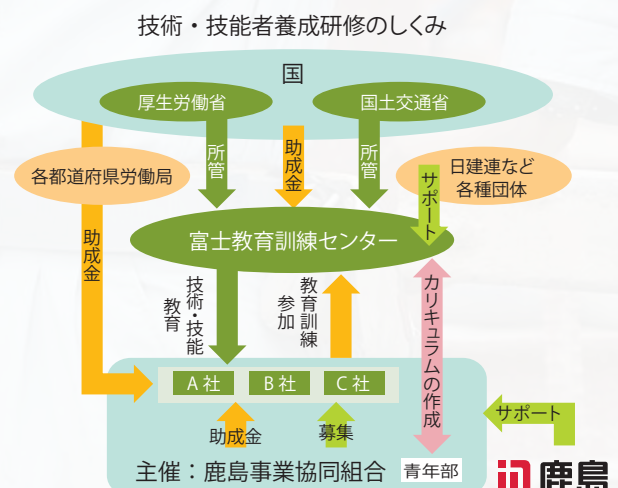
目標：毎年約200名を認定
 手当：一人当たり年額10万円の報奨金を支給
 対象：次の鹿島マイスターを目指す将来有望な若手技能者

年間10万円支給!



初心者も実践的に技術・技能を習得

富士教育訓練センターは、建設業界が協力して設立した建設技術者・技能者の育成施設です。約5万平方メートルの広大な敷地の中に、多数の教育訓練施設をもつ大規模なもので、鹿島事業協同組合では、2000年からこのセンターを利用して、技術・技能者養成研修を実施しています。受講料の全額が助成され、建設技術を習得することができます。



先輩達 からの メッセージ



ダム

施工管理者
41歳

現業実習でダム見学をしたのが、きっかけとなり、今の仕事に就きました。仕事を始めて、先人の偉大さに驚きました。そんな先人を超える技術屋になるのが夢です。

完成した時の達成感と充実感を、一緒に味わいませんか。

橋梁

職長
26歳

建設業は、資格が必要な業種です。資格が無いと出来る仕事も限られます。鹿島の施工パートナーは、人材育成に力を入れており、資格取得を推進しています。自分の能力、技術を高め、次世代を担う「技術者」を目指しましょう。



発行

鹿島事業協同組合



物づくりの魅力について
ホームページで紹介しています。

<http://kajima-kyoren.com>

当パンフレットに関するお問合せ先